

都立三田高等学校 グランドデザイン

生徒 <ul style="list-style-type: none"> • 主体的な学習や探究学習に意欲的に取り組む生徒が増えた。 • 生徒が中心となって行事を行いつつある。 • 社会規範を守った健全な生活を送る生徒が多い。 • 幅広い進学先が保証されている。 	教員 <ul style="list-style-type: none"> • 主体的な学習や探究学習を指導できる教員が増えた。 • 学校行事を生徒中心で運営させる共通理解が教員間で図れている。 • 丁寧で鍛える授業を実践している一方で、手をかけすぎた指導になりすぎる恐れがある。 • 社会の変化をとらえ、広い視野で、将来を見据えた指導を意識する教員が増えた。 	学校 <ul style="list-style-type: none"> • 進学指導が充実し、進学実績を着実に上げている。 • 国際理解教育が根付き、英語教育の充実で高い志の進路実現を図るというコンセプトが共有されている。 • 教育資源として、同窓会・地域・保護者等の教育力を活用する余地が十分に残っている。 • 各行事のつながりを持たせることが課題。
---	---	---

【予想される社会の変化】

①グローバル社会 グローバル化が加速度的に進み、文化的背景の異なる人々と協働し、新しい知恵や価値を生み出すことが求められる

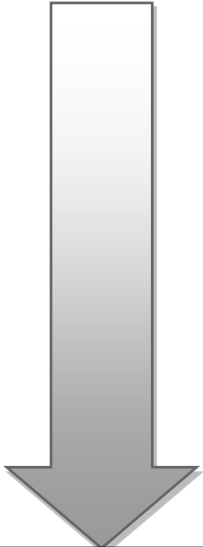
②少子高齢社会 少子高齢化が進み、労働力不足を解消する多様な働き方が求められ、転換期が訪れる。

③人工知能 (AI)・ロボット社会 Society5.0 を迎え、人工知能 (AI)、ビッグデータ、IoT、ロボテックスが高度化し、あらゆる産業や社会に取り入れられ、社会の在り方そのものが劇的に変わる

④混迷する世界情勢
グローバル化の反動として保護主義が勃興し、自国がどう生き延びていくかという民族的なアイデンティティと戦略とが問われるようになる

⑤持続可能な社会の形成者になること

⑥雇用形態が多様化する



【教育目標】

「教養・探究・立志そして世界へ」のスローガンの下、主体的な学びを通して、自ら考え課題解決を図り、イノベーターとしてすすんで国際社会に貢献できる人間の育成

ア 幅広くしなやかな知性と潤い豊かな感性を持つ教養人

イ 自主・創造の意欲と忍耐力・協調性との調和のとれた高い徳性を持つリーダー

ウ 自己を厳しく律し常に進取の気概を持って社会貢献できる開拓者

エ 希望する進路の大学に合格できるだけの学力を持つ精神的に向上心のある若者

【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】

- ◆グローバル社会の中で、多様な価値観をもった人々と英語をツールとして、協働して課題解決に当たれる人材
- ◆高い志を有した教養人・リーダー・開拓者として、仲間と協働し、ゼロから納得解を創造できる人材
- ◆Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)の各能力、且つ、言語能力を持ち合わせ、社会で自立して生きていける人材
- ◆専門性を有し、AI時代を生き残ることのできる人材
- ◆AIにない読解力と調整力を有した人材
- ◆心身ともにタフな人材



<三田の課題>

○進学校としての存続 …近隣に理系進学を想定した専門高校としての新国際高校（仮称）の設置が検討されている。
地域バランス・地域性から、学校の特性を考え、また、校舎老朽化対策とその先を見据えた戦略が必要。

<そのために>

「①国際理解教育の推進」・「②英語4技能の伸長」・「③探究学習の充実」の三つを、特化して学校経営をする事が有効。

①国際教育部 海外修学旅行 MITA ESPA (BH・TGG・カナダ語学研修) 姉妹校 グローバル市民デー 留学生受け入れ 留学推進

②英語による授業75% 教員の英語力 外部検定試験活用 卒業までにB1が目標 JET・ALT 英語教育推進校 TEEP 多読

③知的探究イノベーター 読書プレゼン ホームプロジェクトプレゼン 家庭クラブ活動の充実 情報処理力 主体的な授業 学習履歴の蓄積

<想定する進路>

大学名でなく探究したいことに合う進学
文理問わず英語を tool として活かした幅広い進学
探究学習の成果を活かした進学

【育成すべき資質・能力】

すべての教科・科目に取り組み、特別活動や道徳・総合的な探究の時間を通して、自分の専門性を高め、仲間と強調・協力して新たな価値を生み出す「創造力」を育成する。

- ①志・学びに向かう力（人間力・感性）
- ②知識・技能1（幅広い教養）
- ③知識・技能2（コミュニケーション能力・協働性）
- ④知識・技能3（基本的な学力）
- ④思考力・判断力・表現力等1（課題発見解決力）
- ⑤思考力・判断力・表現力等2（主体的な学び）
- ⑥国際理解力（協働する力）

}

→ 創造力

育成すべき資質・能力		レベル1	レベル2	レベル3 (高校卒業時の目標レベル)	レベル4	目指すべき生徒の将来像
志・学びに向かう力	人間力・感性	・社会や人間や自然に関わる諸課題に気付き関心をもつことができる。	・社会や人間や自然に関わる諸課題について自らの考えをもつことができる。	・社会や人間や自然に関わる諸課題について、自分がどう関わっていくかを考えることができる。	・社会や人間や自然に関わる諸課題について、社会に対してどのように貢献していくかを考え、行動することができる。	<p>◆グローバル社会の中で、多様な価値観をもった人々と英語をツールとして、協働して課題解決に当たれる人材</p> <p>◆高い志を有した教養人・リーダー・開拓者として、仲間と協働し、ゼロから納得解を創造できる人材</p> <p>◆Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)の各能力、且つ、言語能力を持ち合わせ、社会で自立して生きていける人材</p> <p>◆専門性を有し、AI時代を生き残ることのできる人材</p> <p>◆AIにない読解力と調整力を有した人材(空気の読める人)</p> <p>◆心身ともにタフな人材</p>
	知識・技能	幅広い教養	・全ての科目を、まんべんなく学ぶ姿勢がある。	・全ての科目を、意欲を持って学ぶことができる。	・全ての科目に関する知識・技能をもとに特に自分の関心がある分野を深く学ぶことができる。	
コミュニケーション能力・協働性		・議論や話し合いにおいて、自分の意見を示すことができる。	・他者の発言の論点を理解し、それに対する自分の意見を示すことができる。	・他者の主張を理解し、自分の意見と調整をし、互いに納得ができる結論を得ることができる。	・導かれた結論から、新たな課題や発展的な課題を提起することができる。	
基本的な学力		・中学までの内容を基本とし、自ら学ぶ姿勢がある。	・高校で学ぶ教科・科目について取り組み、内容を理解することができる。	・現状を確認し、発展的、専門的な内容について基礎・基本をもとに向上心をもって学ぶことができる。	・これまでの知識を横断的に活用・発展させ、未知の問題に対しても深く考え、解決策を模索することができる。	
思考力・判断力・表現力等	課題発見解決力	・小さな事柄でも、気づきを大切にしようとの意識もっている。 ・与えられた課題について自分の考えをまとめることができる。	・小さな気づきから大きな問題点へと発展的な思考をすることができる。 ・小さな課題について、論理的に思考し、一定の結論を出すことができる。	・自らが見出した発展的な課題について一定の根拠に基づいた結論を出し、それを発信することができる。 ・与えられた情報を整理して論理的に思考、論述することができる。	・複雑な事柄について、事実と様々な意見を整理して、論理的に思考、論述することができる。 ・目の前に現れた問題や課題について幅広い知識や思考力、他者とのコミュニケーションを基に解決に向けた努力を組織的に行うことができる。	
	主体的な学び	・自らの課題を見出そうとする意欲をもっている。	・自らの課題について具体的な見通し(計画性)をもって努力を重ねることができる。	・自らの課題について他者との協力により、自分なりの結論を出して、批評や批判を受けとめてより高度な結論を見出すことができる。	・新たな課題に直面した際に、高校生活で得た知識や思考力を基に問題解決に向けた努力を、自信をもって重ねることができる。	
国際理解力	協働する力	他国の伝統や文化を受け入れ、外国語によるコミュニケーションも積極的に行うことができる。	伝統や文化など背景の異なる国々の人とも、互いの文化的背景を尊重し、協力しあう姿勢を持つ。	それぞれの意見を出し合い、尊重しあって、解決に向けて協働することができる。	伝統や文化など背景の異なる国々の人とも、互いへの深い理解を通し、国際的な諸問題への解決方法を見つけ、行動に移すことができる。	